

ユーシン

# 景況レポート

Number.118  
(2023.10~12月期)

結城信用金庫

■このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業231企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果の  
あらまし

概況(10月▶12月期)

## 業況は、製造業・サービス業・建設業で改善、 小売業・不動産業で横ばい

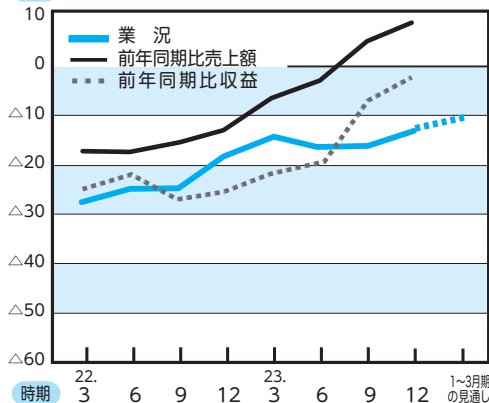
茨城県西地域の中小企業の業況判断D.Iは△13.0と、2023年7月~9月期(前期)の調査より3.5%改善し、景況感はわずかに良化しました。

業種別では、卸売業で前期比3.0%低下しましたが、小売業・不動産業で横ばい、製造業で同比2.7%、サービス業で同比16.2%、建設業で同比5.3%改善しました。

項目別では、売上額判断D.Iが6.5と前期比5.2%、収益判断D.Iが△4.3と同比5.7%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが9.1、前期比4.8%、同収益判断D.Iが△3.0、同比5.3%ともに改善しました。雇用面では、人手過不足判断D.Iが△15.2と前期比2.6%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iにおいては前期比3.1%改善しました。借入金の動きでは、「借入した」が前期比2.1%増加しましたが、借入難易度は、特に大きな変化は見られませんでした。経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が30.7%、「同業者間の競争激化」が30.3%、「原材料高」が29.9%と上位に挙げられました。

また、特別調査の「2024年(令和6年)の経営見通し」について、貴社では2024年の日本の景気をどのように見通していますかの質問に対し、普通との回答が38.5%と最も多く、次でやや悪いとの回答が34.2%という結果となりました。

D.I 全業種総合 主要指標の推移



◎業況判断D.I=「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標 ◎特別調査の詳細は8~9ページに掲載しています

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

## 業況の見通し判断D.Iは△10.0、当期実績比3.0%改善の見込

来期は、製造業・卸売業・小売業・不動産業で改善を見込んでいます。

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比5.2%低下、収益判断D.Iでは同比0.4%改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比10.4%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比0.4%低下、残業時間判断D.Iが同比1.7%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が57.6%、「販路を広げる」が33.8%、「人材を確保する」が24.7%と上位に挙げられました。

### 景況天気図

〔この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました〕

業種名	時期	5年7月~9月	5年10月~12月	6年1月~3月 見通し	概	要
総合					業況判断D.Iは、3.5%改善し△13.0。来期は、3.0%改善し△10.0の見通し。	
製造業					業況判断D.Iは、2.7%改善し△18.1。来期は、1.4%改善し△16.7の見通し。	
卸売業					業況判断D.Iは、3.0%低下し△24.2。来期は、3.0%改善し△21.2の見通し。	
小売業					業況判断D.Iは、横ばいの△24.4。来期は、14.6%改善し△9.8の見通し。	
サービス業					業況判断D.Iは、16.2%改善し△3.2。来期は、6.5%低下し△9.7の見通し。	
建設業					業況判断D.Iは、5.3%改善し16.7。来期は、2.8%低下し13.9の見通し。	
不動産業					業況判断D.Iは、横ばいの△22.2。来期は、11.1%改善し△11.1の見通し。	

好調 ← → 低調 / 業況改善 業況悪化 業況変化なし

## ■ 製造業

回答企業数72企業(回答率100%)

## 【業況】

10~12月の実績	8.3	65.3	26.4
1~3月の見通し	9.7	63.9	26.4

## 【売上額】

10~12月の実績	22.2	59.8	18.0
1~3月の見通し	13.9	68.0	18.1

## 【原材料価格】

10~12月の実績	31.9	68.1	0.0
1~3月の見通し	20.8	79.2	0.0

## 【収益】

10~12月の実績	15.3	61.1	23.6
1~3月の見通し	8.3	75.1	16.6

■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

## 概況(10月▶12月期)

## 業況判断D.Iは△18.1、前期比2.7%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが4.2と前期比16.7%、収益判断D.Iが△8.3と同比9.8%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが6.9、前期比12.5%、同収益判断D.Iが△2.8、同比16.6%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△12.5と前期比2.8%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△6.9と前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が18.1%（前期15.3%）、「予定あり」が8.3%（同12.5%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は6.9%（前期9.7%）となりました。

経営上の問題点では、「原材料高」が45.8%、「売上の停滞・減少」が34.7%、「利幅の縮小」が26.4%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

## 見通し(1月▶3月期)

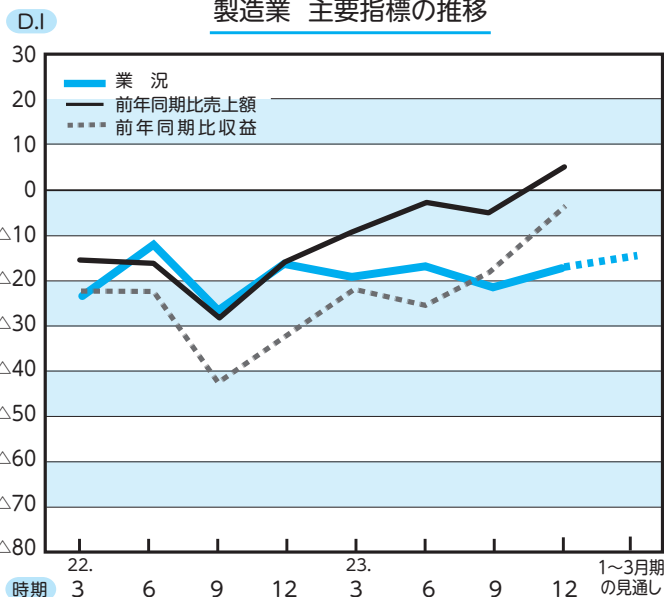
## 業況の見通し判断D.Iは△16.7、当期実績比1.4%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比8.4%低下、収益判断D.Iが同比横ばいを見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比8.4%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比4.1%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が61.1%、「販路を広げる」が40.3%、「人材を確保する」が29.2%と上位に挙げられました。

## 製造業 主要指標の推移

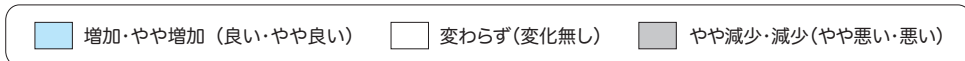
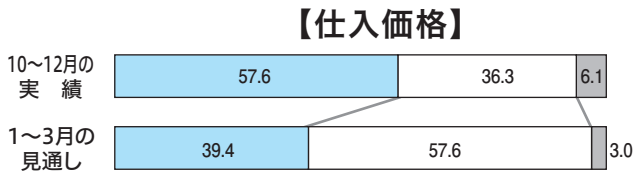
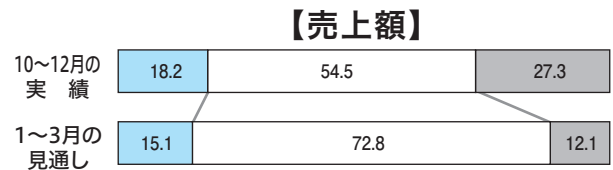
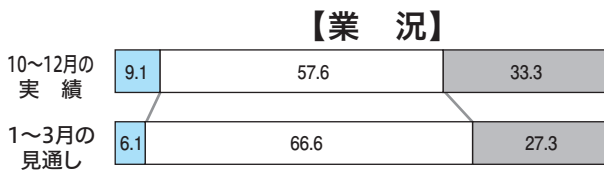


## 調査員のコメントから

受注状況は増加傾向にあるが人員不足により全て受注出来ていない。労働環境を良くし新規従業員を募集しているが、応募者少なく人員不足解消には至っていない。

卸売業

回答企業数33企業(回答率100%)



概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△24.2、前期比3.0%の低下



項目別では、売上額判断D.Iが△9.1と前期比24.3%、収益判断D.Iが△21.2と同比12.1%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが3.0、前期比6.1%、同収益判断D.Iが△21.2、同比9.1%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△3.0と前期比12.2%改善し、人手不足感が緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは3.0と前期比9.1%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が15.2%（前期12.1%）、「予定あり」が6.1%（同3.0%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は9.1%（前期15.2%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が42.4%、「利幅の縮小」が39.4%、「同業者間の競争激化」・「仕入先からの値上要請」がそれぞれ27.3%と上位に挙げられました。

見通し(1月▶3月期)

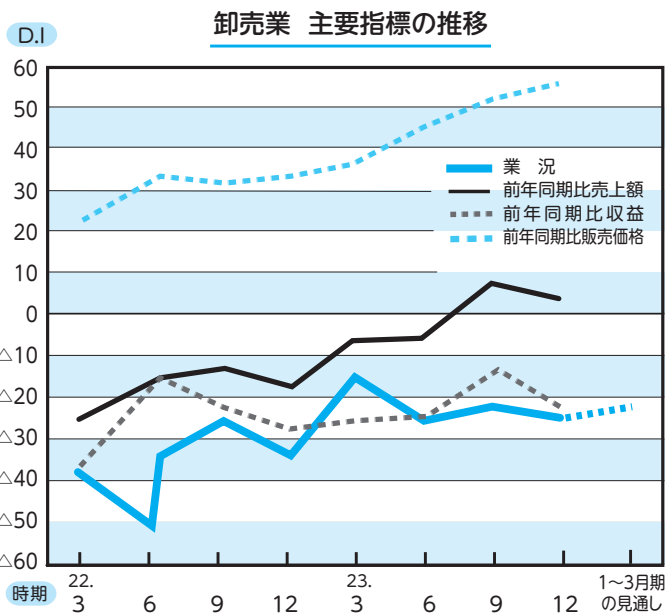
業況の見通し判断D.Iは△21.2、当期実績比3.0%改善の見込



項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比12.1%、収益判断D.Iが同比15.1%ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iでは当期実績比12.1%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比3.0%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が63.6%、「販路を広げる」が57.6%、「品揃えを充実する」・「情報力の強化」がそれぞれ18.2%と上位に挙げられました。



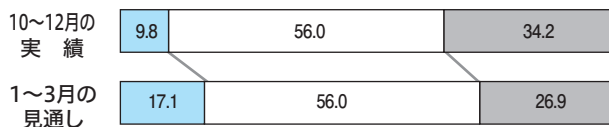
調査員のコメントから

米の消費減少に加え農機具や肥料等の値上がり、更には農業人口の高齢化が足かせとなっているため先行きを不安視している。

## ■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

## 【業 況】



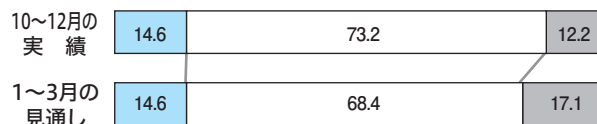
## 【売上額】



## 【仕入価格】



## 【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



## 概況(10月▶12月期)

## 業況判断D.Iは△24.4、前期比横ばい

項目別では、売上額判断D.Iが9.8と前期比12.2ポイント低下、収益判断D.Iが2.4と同比2.4ポイント改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが0.0、前期比12.2ポイント低下、同収益判断D.Iが△4.9、同比横ばいとなりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△9.8と前期比7.3ポイント改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△4.9と前期比2.5ポイント低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が17.1%（前期14.6%）、「予定あり」が4.9%（同12.2%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は4.9%（前期2.4%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が36.6%、「同業者間の競争激化」が29.3%、「利幅の縮小」が22.0%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



## 見通し(1月▶3月期)

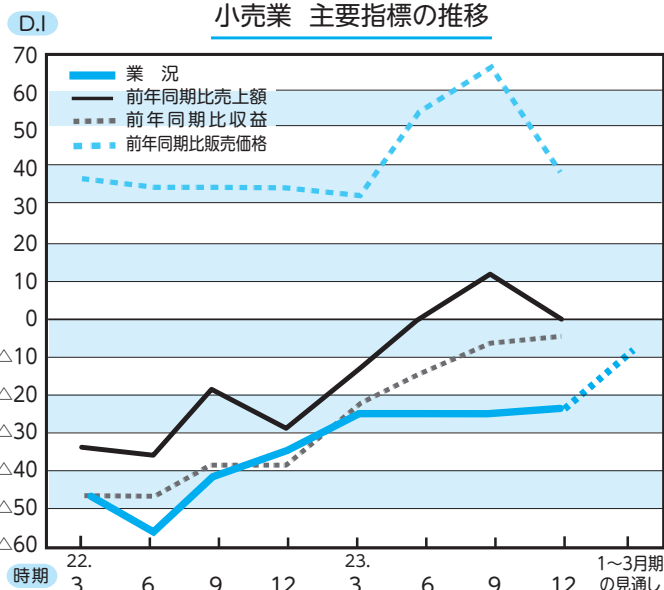
## 業況の見通し判断D.Iは△9.8、当期実績比14.6ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比12.2ポイント、収益判断D.Iが同比4.8ポイントともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比22.0ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比7.3ポイント低下、残業時間判断D.Iが同比4.9ポイント改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が70.7%、「品揃えを改善する」が36.6%、「売れ筋商品の取扱」が29.3%と上位に挙げられました。

## 小売業 主要指標の推移



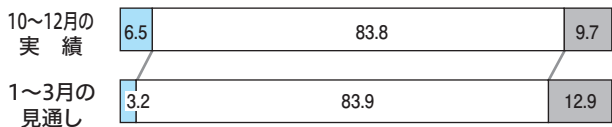
## 調査員のコメントから

大型店や同業種（人気店）の影響、駅周辺の過疎化進行等により、業務効率化向上のため赤字店舗を閉店。また、大幅な経費削減を図るためリストラ等に着手中である。

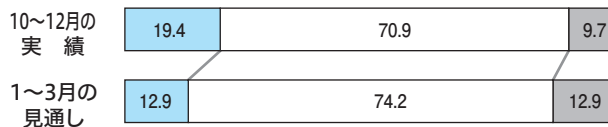
■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)

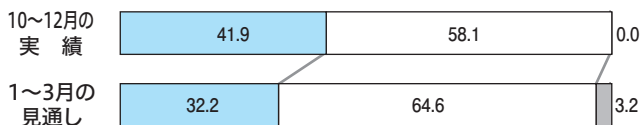
【業況】



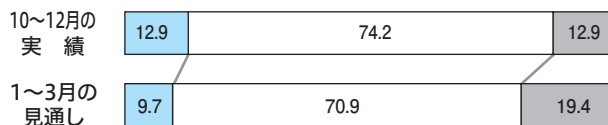
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△3.2、前期比16.2%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが9.7と前期比12.9%、収益判断D.Iが0.0と同比16.1%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが16.1、前期比6.4%、同収益判断D.Iが6.5、同比9.7%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△25.8と前期比3.2%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△3.2と前期比3.3%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.7%（前期6.5%）、「予定あり」が6.5%（同3.2%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は0.0%（前期0.0%）となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が48.4%、「同業者間の競争激化」が38.7%、「人手不足」が22.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

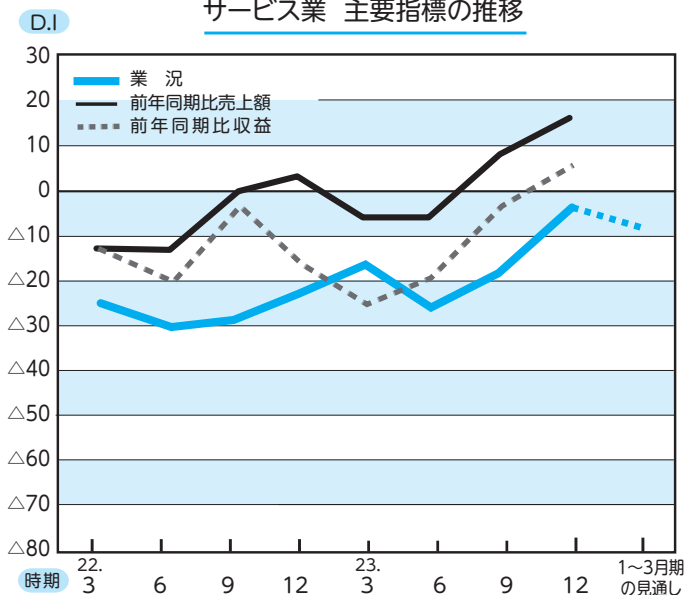
業況の見通し判断D.Iは△9.7、当期実績比6.5%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比9.7%、収益判断D.Iが同比9.7%ともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比12.9%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比3.2%、残業時間判断D.Iが同比3.2%ともに改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が41.9%、「経費の節減」が35.5%、「宣伝・広告の強化」が32.2%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



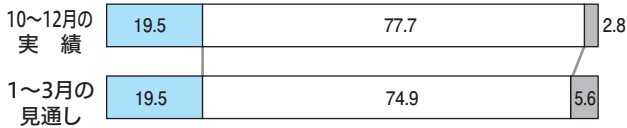
調査員のコメントから

外国人実習生の積極的な登用により人手不足の解消に努めている。今後は、教育訓練を強化していく方針である。

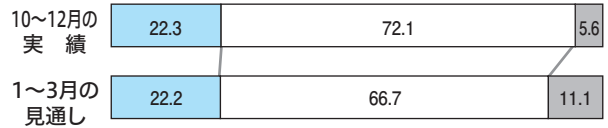
■ 建設業

回答企業36企業(回答率100%)

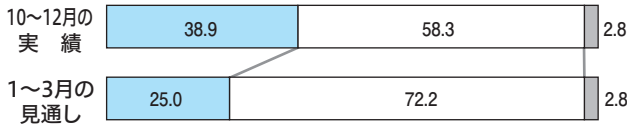
【業況】



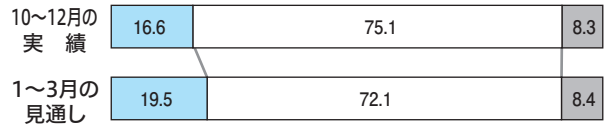
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは16.7、前期比5.3%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが16.7と前期比16.7%改善、受注残判断D.Iが2.8と同比0.1%低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが16.7、前期比2.4%改善、同収益判断D.Iが2.8、同比5.8%低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△25.0と前期比5.0%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは2.8と前期比11.4%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が33.3%(前期37.1%)、「予定あり」が25.0%(同22.9%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は13.9%(前期14.3%)となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が58.3%、「人手不足」が41.7%、「同業者間の競争激化」が30.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(1月▶3月期)

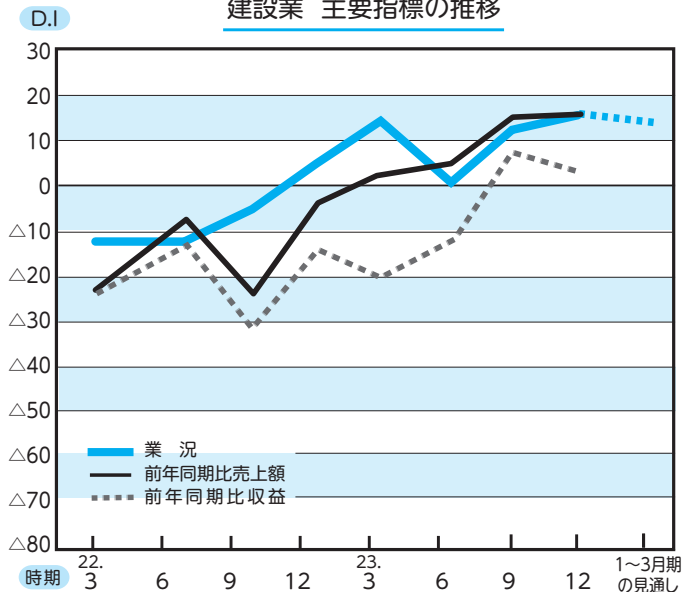
業況の見通し判断D.Iは13.9、当期実績比2.8%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比5.6%低下、収益判断D.Iが同比2.8%改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比13.9%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.8%改善、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が66.7%、「人材を確保する」が44.4%、「販路を広げる」が25.0%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



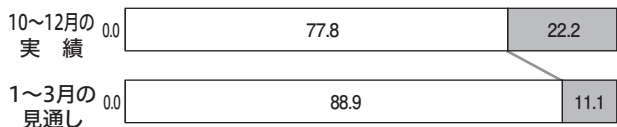
調査員のコメントから

公共工事を中心に受注状況は安定している。しかし、人員不足により施工高の増加は望めない。今後は、慢性的な人材不足を労働条件等の見直しにより、人材確保に努める方針である。

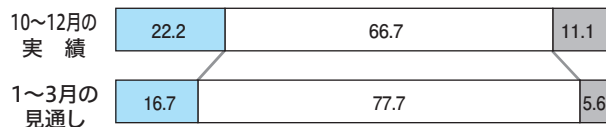
■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

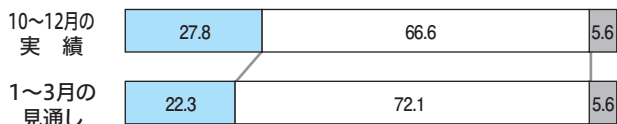
【業況】



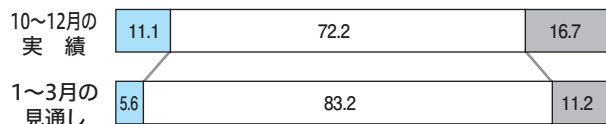
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(10月▶12月期)

業況判断D.Iは△22.2、前期比横ばい



項目別では、売上額判断D.Iが11.1と前期比16.7%、収益判断D.Iが△5.6と同比5.5%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが22.2、前期比33.3%、同収益判断D.Iが5.6、同比11.2%ともに改善しました。雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.2と前期比横ばいとなり、人手不足感の強まりに変化はありません。また、前期比残業時間D.Iは0.0と前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が16.7% (前期11.1%)、「予定あり」が5.6% (同5.6%) を示しています。経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が44.4%、「人手不足」・「商品物件の不足」がそれぞれ27.8%、「売上の停滞・減少」が22.2%と上位に挙げられました。

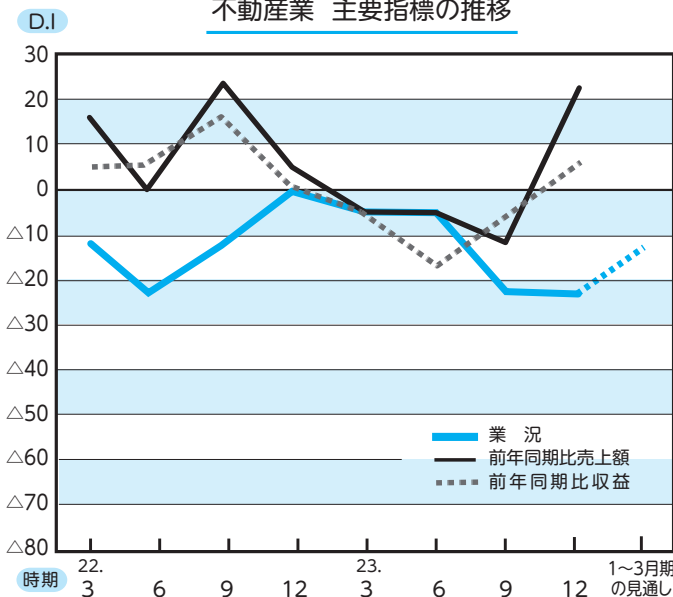
3ヶ月予報

見通し(1月▶3月期)

業況の見通し判断D.Iは△11.1、当期実績比11.1%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iが同比ともに横ばいを見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比5.5%低下を見込んでいます。雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比5.6%低下の見通しとなっています。当面の重点施策では、「販路を広げる」・「情報力の強化」がそれぞれ44.4%、「宣伝・広告の強化」・「人材を確保する」がそれぞれ33.3%、「経費の節減」が22.2%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



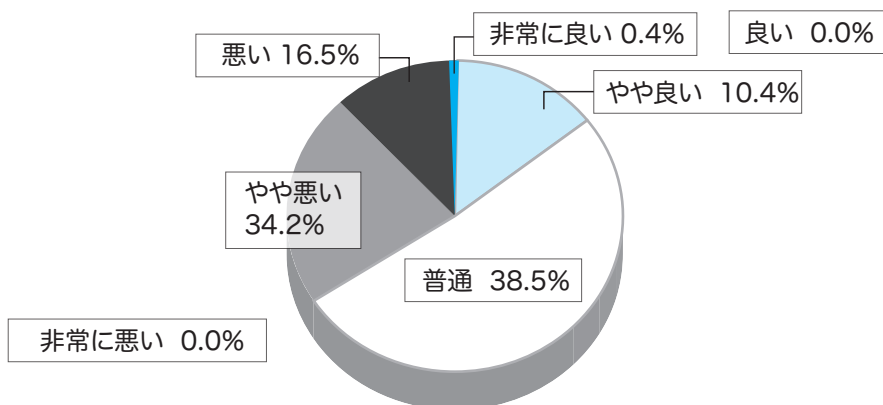
調査員のコメントから

地価等の変動は小幅であり不動産需要は続いているため、業況は概ね堅調に推移する見込みである。

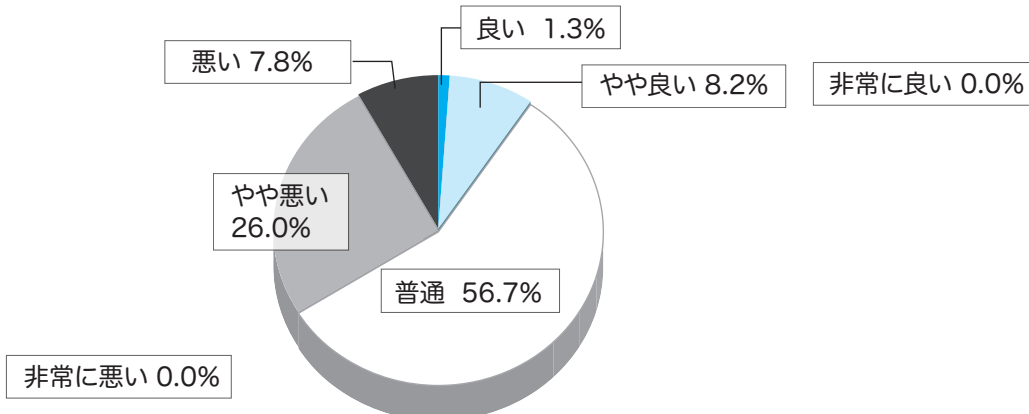
特別調査

# 2024年(令和6年)の経営見通し

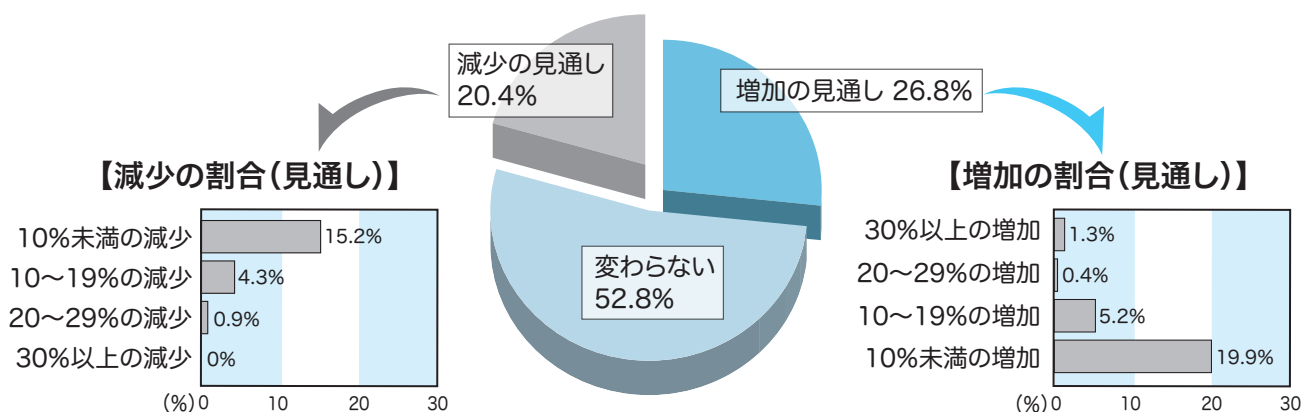
**問1** 貴社では、2024年の日本の景気をどのように見通していますか。



**問2** 貴社では、2024年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。



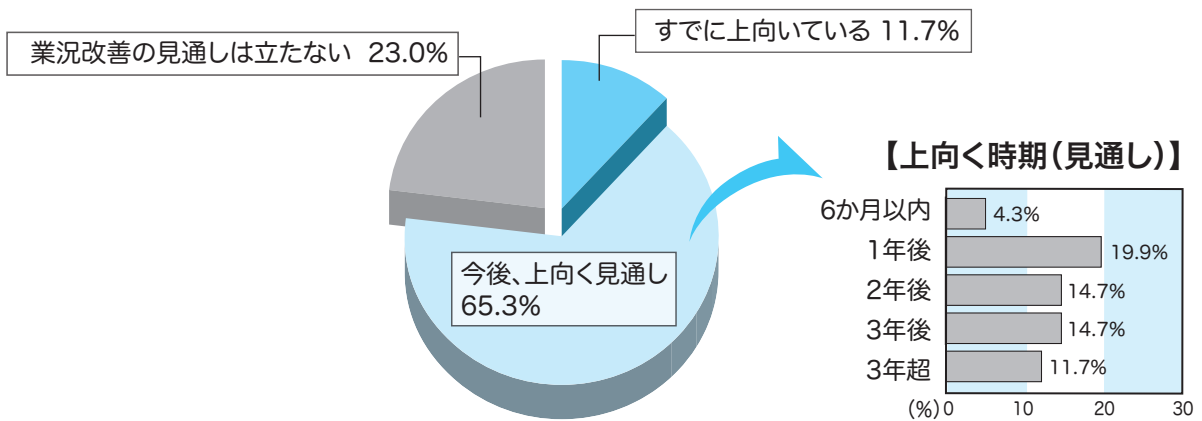
**問3** 2024年において貴社の売上額の伸び率は、2023年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。





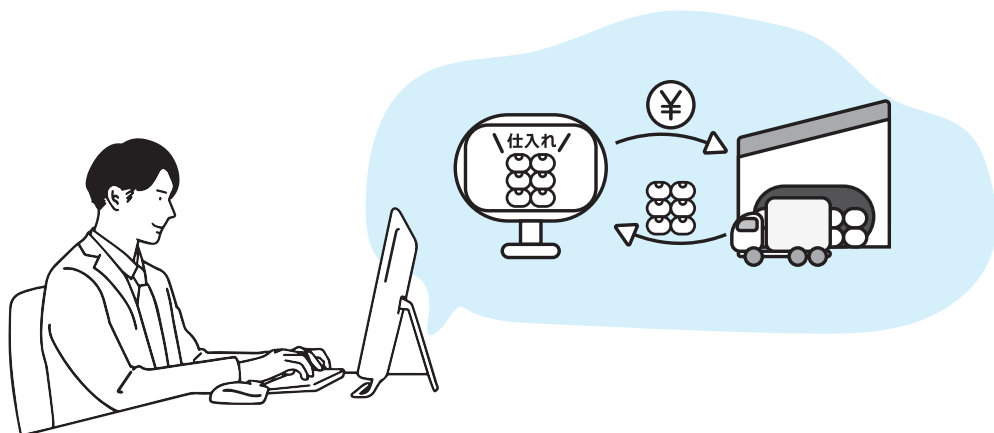
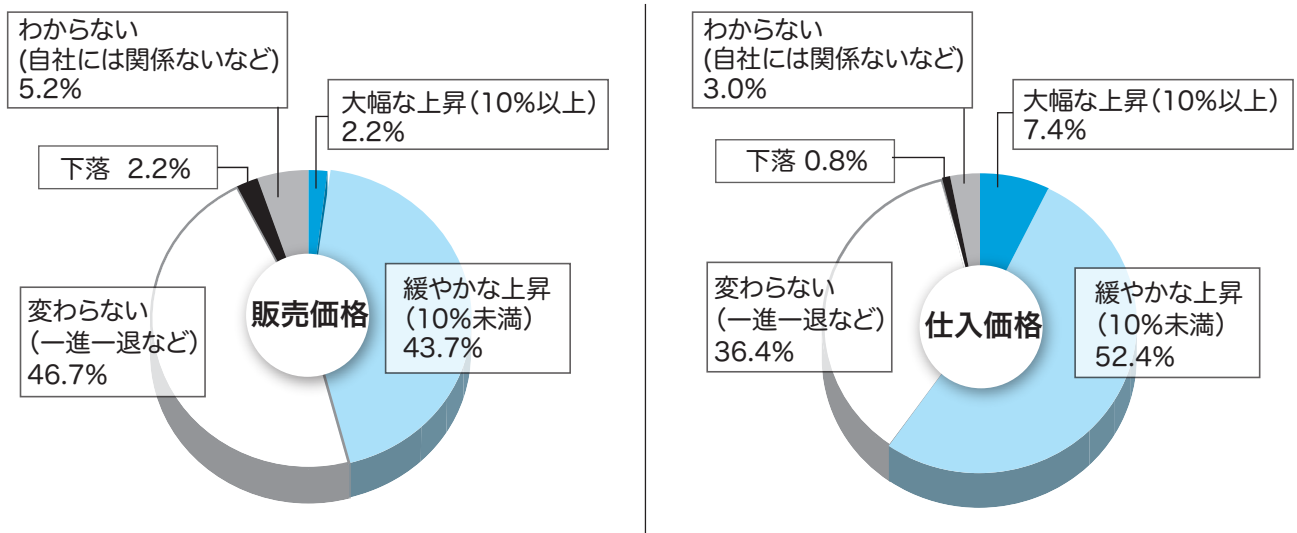
問4

貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。



問5

近年、販売価格や仕入価格に上昇の傾向がみられますが、2024年を展望したとき、貴社では価格面の動向をどのように見通していますか。



## 明けましておめでとうございます

令和6年の初春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。  
旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。  
今後とも地域社会の繁栄に向けて役職員心を一つにして  
精進してまいる所存でございます。  
本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結城信用金庫  
理事長 石塚 清博



## 提携事業所にお勤めのみなさまへ

QRコードを読み取っていただくことで結城信用金庫のホームページにアクセスできます。



# 職域サポート契約制度

### 職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業所（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

### ご利用いただける方

（右記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が20歳以上の方
- 保証会社の保証が得られる方

下記の  
ローン商品の金利を  
店頭表示金利から

年 **1.50%**  
引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

### 職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

#### 一般個人ローン

ご融資金額 **500**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

#### ブライダルローン

ご融資金額 **500**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

#### カーライフプラン

ご融資金額 **1,000**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

#### 教育プラン

ご融資金額 **1,000**万円以内

ご利用期間 **16**年以内

#### 子育て応援プラン

ご融資金額 **100**万円以内

ご利用期間 **10**年以内

#### リフォームプラン

ご融資金額 **1,000**万円以内

ご利用期間 **15**年以内

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。

※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。

また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

### — 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地  
TEL (0296) 32-2110 FAX (0296) 33-0414  
<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>